



須賀川市

シルバーだより

平成31年1月
第67号

迎春



提供：会員 菅原直八「おしどり」
那須塩原温泉（那珂川）

会員としての心得

1. 「安全はすべてに優先する」を心得て作業にあたる。
2. センターの会員として仕事の開拓、確保に努める。
3. 「顧客第一」引き受けた仕事は責任を持って誠実に成し遂げる。
4. 契約外の仕事を依頼されたら速やかに事務所へ連絡する。
5. 自分の健康管理に心がけて無理な健康状態で就業しない。
6. 仕事で知りえた情報を他にもらさない。
7. 「社会に貢献」センターの働きを通して地域に貢献する。



新年のご挨拶



理事長
遠藤和司

新年明けまして、おめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私は、理事長に就任以来、会員の皆様を毎日楽しく働き、安心して安定した日々を送られるよう第一に考え、事業運営を行っております。

さらに、コンプライアンスの強化に努め、顧客や社会に対して、信頼を構築し誠実な仕事をこなせるようにするほか、会員はじめ従業員のモチベーションを上げるため、組織内の情報共有など組織の活性化を推進します。

また、会員皆様方の長きに亘り培った、豊かな知識経験などが活かせるよう広報・広告媒体等を活用し各種事業を行なうことといたします。

さて、管内の雇用情勢は、製造業・医療・福祉をはじめ、サービス業等において、新規求人が増加し堅調に推移するなか、高齢者の雇用は常用パートを含む臨時的・短期的な雇用に限られています。

このため、当シルバー人材センター

旧年中は、市政進展のため、温かいご支援とご協力を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、日本が世界一の健康長寿社会となった今日、「人生百年時代」を見据えて、地域社会の活力を今後にも維持していくためには、高齢者の皆さんが、様々な形で活躍できる環境づくりが重要となっております。

このような中、シルバー人材センターにおかれましては、遠藤理事長を中心として、役員・会員の皆様が一丸となり、働きたいと考える高齢者への就業の場の提供や社会参加の促進により、生きがい作りや生涯現

では地域の日常生活に密着した就業機会を提供することにより、高齢者の「生涯現役社会」の実現に向け、その一翼を担えるよう従業員が中心となり体制づくりを強化し、高齢者の生きがいの充実と社会参加の促進に努めてまいります。

当シルバー人材センターの第2四半期の事業実績は会員数十七人増の五百三十五人、基幹事業である受託事業及びシルバー派遣事業、職業紹介事業を合わせた事業実績は前年度を上回る状況となっております。

このような中、昨年は技術技能及び資質の向上を図るため、公益社団法人福島県シルバー人材センター連合会が開催する各種講習を行うほか、会員互助会と共催による健康・接遇に関する

役社会の実現に寄与されるとともに、地域社会の活性化にご尽力いただいていることは、誠に同慶に堪えません。

特に、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、会員の皆様の豊かな経験・技能を大いに生かし、受託事業や労働者派遣事業のほか、独自事業や公共施設の指定管理などにも積極的に取り組まれ、業績伸張と事業拡大を進めるばかりでなく、牡丹園や釈迦堂川での清掃ボランティア活動等にも力を注がれ、地域社会に多大なる貢献をされておりますことに対し、改めて感謝の意を表する

講話を開催したところであります。新年を迎え、会員の皆様には「自主・自立、共働・共助」基本理念の精神のもとに、安全適正就業ガイドラインに沿った就業・就労を提供して参りますので、健康管理に留意し事故のない生活を第一に願います。

当シルバー人材センターは、これからも地域に密着し、誰からも愛され、親しまれるよう、会員はじめ従業員が一体となり、安全で安心なまちづくりにより寄与しつつ、地域社会に貢献できるように目指してまいります。

最後に、須賀川市をはじめ、関係行政機関、団体、市民の皆様には、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶いたします。

次第であります。

市では、今月十一日にオープンする市民交流センター「tette(てつて)」を市民文化復興のシンボルとして市内外に積極的にアピールし、市民力の結集や各種事業の展開により「選ばれるまち 須賀川市」の実現に取り組む所存でありますので、引き続き、会員の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、須賀川市シルバー人材センターのますますのご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶



須賀川市長
橋本克也

明けましておめでとうございます。

須賀川市シルバー人材センターの会員、役員、並びに関係者の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお喜びを申し上げます。



新年のご挨拶



須賀川市議会議長
佐藤 暲 二

新年おめでとうございます。
会員の皆様方には、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
旧年中は、市政の進展及び市議会の活動に対し、ご理解とご協力を賜



新年のご挨拶



安全管理委員長
関根 邦 洋

会員の皆様、そして会員の御家族の皆様、明けましておめでとうございます。皆様方には良いお正月をお迎えにられましたことと心からお慶び申し上げます。初日の出に正座して応えた阿武隈山脈、起立して襟を正した奥羽山脈、正に生あればこ

り心より厚く御礼申し上げます。

さて、現在地方を取り巻く状況は、人口減少問題や少子高齢化社会の到来に伴う多くの課題に直面しており、地域のあり方が大きく問われております。

そうした中、須賀川市シルバー人材センターにおかれましては、遠藤理事長をはじめ、役員と会員の皆様方が一丸となつて、技能向上や就業機会の増大、さらにはボランティア活動などに取り組まれ、大きな成果を上げてこられましたことは、誠に喜ばしい限りであり、深く敬意を表

するものであります。

「自主・自立、共働・共助」のセンターの基本理念のもと、本年も引き続き、就業支援と生きがい支援の両面から、貴センターが中心的な役割を果たされますようお願い申し上げます。

また、会員皆様方の丁寧な仕事ぶり、豊富な経験や技能講習会などで培われた高い技術力は、各方面から高い評価と信頼を得ております。どうか、会員の皆様におかれましては、ますますお元気で、持てる能力を十分に発揮され、今後とも地域

そ迎えることの出来た元朝でした。

こういう荘厳さを今後も会員の皆様方と末永く共感出来ることを念じます。それには全会員が事故なく、病をまねくこともなく可能な限り働くことが何よりも大切なことです。

顧みますと我々昭和と平成を生き抜いた者は「金の卵」ともてはやされ、働くことが美德で「働かざる者食うべからず」と教育され、昼夜を問わず働き続けて参りました。今、敬老と仰がれても、勤労のサイクルが身につけていて働き回っていないと一時も落ちつかない習性が身から離れないのが実情です。

社会に大いに貢献されますよう、ご期待申し上げます。

市議会としましては、高齢者福祉の充実と生きがい対策の拡充など須賀川市のさらなる飛躍に向け、各種事業に最大限の努力を傾注して参る所存でありますので、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、須賀川市シルバー人材センターのますますのご発展と、会員皆様方のご健勝を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

ですからセンターに入会した私達のその勤労精神が日向ぼっこをする余生を許さないので。それに年金生活者の私達には「超高齢者社会」という逆風が吹いています。社会保障制度が問われているのです。百年安心と言われ年金をコツコツと支払つて来た我々がいかにも邪魔者のような新聞のタイトルを読むと、すこしでも生活の足しにと働くことを選択肢を求めることは自然の成行きです。

ところがこの年代です。働いて怪我をしたり病を得たりすると、とり返しのつかないことになってしまい
ます。末永く伴侶や子供や孫達と健康で健全な生活を維持していくためにも怪我や事故には充分注意しましょう。
勤労精神が仇にならないよう、特に転倒に気をつけて下さい。頑健な人が不注意な転倒で長期入院することが度々見かけられます。それと早食いにも注意したいものです。これは誤嚥に因る肺炎を惹き起すためです。我々の年代は常にかかるところにもリスクが満ちあふれています。今年もどうか良い年でありますようご祈念申し上げます。



須賀川市長へ 表敬訪問

「生涯現役社会」を実現する

SCの決意と支援要望

当シルバー人材センターは十月二十六日橋本克也須賀川市長を表敬訪問しました。

遠藤理事長と各役員が真新しい本庁舎を訪れ、日頃のシルバー人材センターへのご支援に感謝すると共に更なる発注拡大及び補助金の継続に理解を求めました。又、全国シルバー人材センター事業協会決議の要望書を手渡しました。

要望書の主な内容は次のとおりです。

- ① シルバー人材センター事業の推進のために必要なセンターに対する補助金等の確保
- ② 公共からの事業発注の確保
- ③ 「特定費用準備資金」について将来の収支変動に備えた資金や運転資金として積み立てることを可能とする見直し

▲写真の左から

橋本克也須賀川市長
遠藤和司理事長
佐久間尊筆頭副理事長
長澤泰幸理事兼事業推進員
山田正機監事
加藤恵子副理事長
関根邦洋理事・安全管理委員長
成瀬邦夫監事

事務事業推進 連絡会の開催

三市合同(須賀川・田村・本宮)

シルバー人材センター



この連絡会は、近隣センターの役員・会員が一堂に会して相互に抱える問題を改善しようとする発足し、昨年から三市合同で開催しています。今

年度の開催は本宮市シルバー人材センターを会場に去る十月二十四日に本宮市SC、田村市SCと須賀川市SCの三市から約四十名が参加して真剣に行われた。課題は身近なテーマで「安全・適正就業について」「会員増強について」を二つの分科会に分かれて徹底討論を重ね、会員同士が自主的に学びました。このようにセンター同士で纏め上げた内容は今後の行動計画・実施に活かされることが期待されます。

勤労感謝の集い開催

「人生 夢いつまでも」

平成三十年度勤労感謝の集いは、十一月二十六日(月)午前十時から須賀川市民温泉において、会員・市民百四十六名が出席し開催された。遠藤理事長から挨拶があり、その後公益社団法人福島県シルバー人材センター連合会専務理事佐藤義住氏から祝辞を戴き、二部構成で講演に入りました。

【第一部】

演題 「人生に余生はなし」

講師 公益社団法人福島県

シルバー人材センター連合会

元専務理事 五十嵐一男氏

【第二部】

演題 「人生一〇〇年時代を

どう過ごすか」

講師 公益財団法人

ふくしま自治研修センター

名誉教授 鈴木常夫氏



五十嵐一男氏

千支に思う亥

亥年生まれの会員さんに左記項目についてお聞きいたしました。

- ① 今年の抱負
- ② 健康法
- ③ 趣味
- ④ シルバーセンターに入会してよかった事
- ⑤ これから挑戦してみたい事

亥年生まれの会員さんを紹介いたします

昭和十年生まれ

高橋タツ 大峰房子 吉田一朗
松谷開次 熊田ハル代

昭和二十二年生まれ

柳沼ハルイ 深谷フミ子 渡辺俊美
関根 進 司 内藤文男 小林忠太郎
大沢 進 横山俊治 野口福子
車田和子 芳賀春雄 菅野二三夫
溝井善一 小林一人 有馬洋乃
佐藤精次 松谷喜芳 薄井孝
鈴木和子 赤羽和男 山崎チエ子
西間木みどり 西楨富男 永瀬悦子
関根茂光 渥見哲夫 山川モト
佐藤明夫 有我俊一 高橋正三
橋本順子 湯田章 石田甲子夫
小林重信 大竹節子 熊田光江
山本龍子 山本龍子 宗像正文
大野治夫

昭和10年生



吉田一朗

- ① 他人に迷惑をかけないようにボケ防止に努める
- ② 早寝早起。体を動かし、くよくよしないこと
- ③ 山菜とり、パチンコ
- ④ 多くの人との出逢いで学ぶ事が多かった
- ⑤ 健康維持のため、老人に出来るスポーツを心掛ける



熊田ハル代

- ① 怪我をせず、健康寿命を維持する事
- ② 歌ったり、軽いトレーニングの会に週1参加
- ③ 趣味の会の一員です。布を使った小物作り
- ④ 同年代の友人が多くなり、外出も多くなりました
- ⑤ 今年は、夏野菜作りに挑戦しようかな!!

昭和22年生



渡辺俊美

- ① 健康に留意して元気に働くこと
- ② 適度な酒量と運動
- ③ 旅行とカラオケ
- ④ 働くことで健康が維持できる
- ⑤ 1日に1万歩、歩くこと (現在約5000歩)



関根 司

- ① 健康のために好きな運動を続ける
- ② 体を動かし食べ物は自分で料理すること
- ③ ドラマ、スポーツをテレビでみること
- ④ 仲間と仕事ができお金が稼げるから
- ⑤ 平均寿命でなく健康寿命を伸ばしたい



大沢 進

- ① 普通に生きること
- ② 晴風雨雪、日日是好日
- ③ 卓球、ゴルフ、盆栽
- ④ 隔週なので自由な時間が創始できる
- ⑤ ギターの弾き語り1、2曲覚えたい



横山俊治

- ① 過去を悩まず、未来を憂わず、今を喜ぶ
- ② 筋トレ、ストレッチ、ウォーキング
- ③ カメラいじりと風景写真撮影
- ④ 社会と繋がって生きる充足感
- ⑤ 明るく、楽しく、90才迄ピンピンコロリ!

第2回

「この人・仕事」 紹介



会員

円谷喜代子

この欄は会員の仲間を紹介するコーナーです。今回は会員歴三十年の大先輩、円谷喜代子さんを紹介します。須賀川市シルバー人材センターは昭和五十七年（一九八二年）四月発足ですから、大変なご苦労をされてきています。

円谷さんは現在南上町に六人家族で暮らしております。須賀川市で大正十五年誕生、幼少時代から学生時代もここで育ち、卒業後は教員として須賀川市内の小学校で教鞭を執られました。その後、退職されると同時に平成元年にセンターに役員として入会され、平成十九年六月副理事長に就任、二期四年を務められました。

その間、会員として色々なことを経験されていますが唯一、ここで紹介したい内容はセンター独自事業の一つ「モップ人形」の製作販売です。この商品は今から十六年前（平成十四年）に全国シルバー人材センター

事業協会の発行する月刊誌の表紙に掲載され、全国の各センターに紹介されました。

この会の発足は、平成八年――。ハンカチプローチ、牛乳パック利用の椅子、アンデルセンかご、めがね立てなど、百二十種類もの商品開発を行ったとのことでした。

当時は、日々斬新な商品を考案することに奮闘して喧々諤々、寝る時間も惜しまず、アイデアとその製作に苦労されたと聞いております。そんな時でも機会ある毎に会員と楽しく談笑するひとときが一番嬉しかったようです。

円谷さん曰く、「この手作り趣味の会は、会員の高齢化に伴い一般家庭等の就業が困難になった会員同士が「自分達の趣味を活かす事ができないか」と考え、関係者の支援もあり、手工芸品の製作販売事業の確立に努めました。」現在のメンバー二十名は、楽しいこの会をPRしながら、一途に手工芸品製作に取り組む、機会あるごとに出版販売先に紹介しています。

今でも「手作り趣味の会」の代表として活躍されていることに感銘を受けました。

今後もお体に気をつけてシルバー人材センター事業発展に貢献されますようご期待申し上げます。

編集委員 取材班



◀手作り趣味の会の皆さん



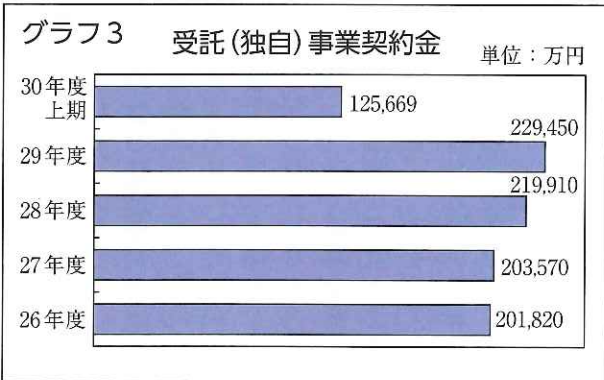
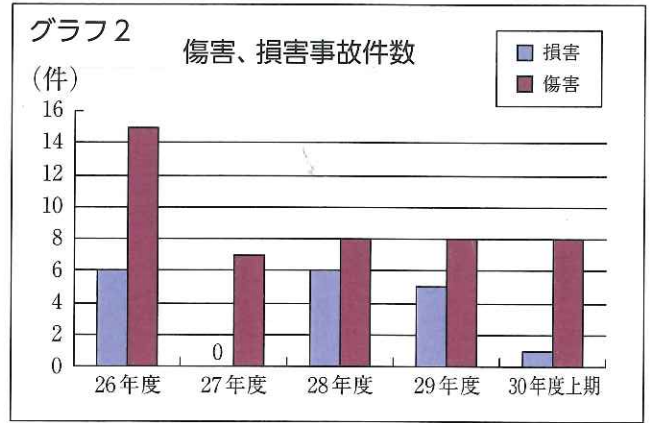
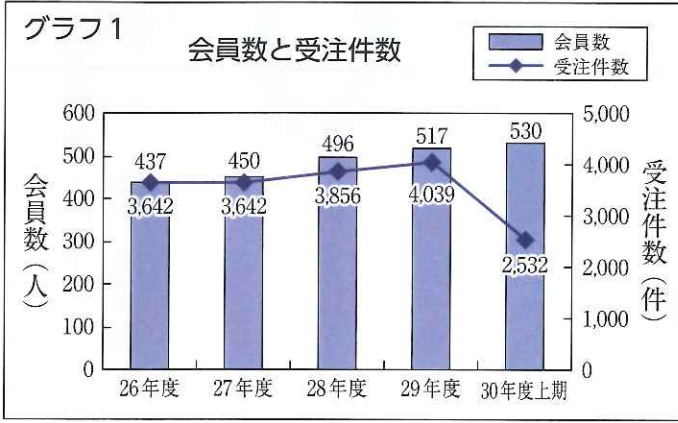
「シルバーの日」 ボランティア活動

去る十月十五日は、「シルバーの日」で、普及啓発月間に伴う活動の一環として、市民温泉広場のゴミ拾い、除草作業等の清掃奉仕作業を行いました。会員五十二名が参加され約二時間作業を行いました。皆様のご協力ありがとうございました。



事業実績報告

各年度の事業実績について、下記グラフでお知らせします。



雇用環境の複雑化

最近、七十才定年や外国人雇用の拡大(国会審議中)、更にAI知能の労働改革と働く市場環境はこれまで以上に多様化しそうです。ここ数年間、毎年増加する高齢者の日本社会、若年層労働力不足から生ずる雇用の混乱を如何に乗り切るか問われているからだ。我々を取り巻く労働環境にも少なからず影響してくるだろう。地域ニーズに対応する公益法人が過去の労働ノウハウ(培われた経験)だけで生き残れるものだろうか。地域社会に高い信頼性を持つて提供するノウハウをどう構築すべきか、そんな課題に取り組む時代がやってきそそうだ。

市民温泉の話題

最近の地元温泉利用者の声に
『市民温泉はいいね!』
『リニューアルして綺麗になった』
『つるつるが一番だね!』
『シルバー人材センターの会員が綺麗に清掃しているようだ』

健康診断書は提出しましたか?
当センターは会員の皆様の健康管理と安全就業のため、毎年、須賀川市が行う集団検診などの結果のコピー提出をお願いしています。未提出の方は、早めに提出してください。

あしがき

明けましておめでとうございます。
この街の伝統行事、松明あかしに数百年ぶりに出掛けました。夜空を火炎と和太鼓の響き、心に残る祭典に感動させられました。

「シルバーだより」はセンター発足から第六十七号の発刊に至り、諸先輩から引き継がれた情報誌として継続していきます。

会員の皆さんの斬新な情報を掲載して多くの会員に親しまれるよう編集しています。

今後とも皆様のご協力を宜しく御願致します。

編集委員一同



発行

公益社団法人

須賀川市シルバー人材センター

〒九六二-〇〇二八

須賀川市茶畑町六五

TEL 〇二四八(七六)一九九二

FAX 〇二四八(七六)一九九三